

令和4（2022）年度 年間事業報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症が収束することはなかった。そのために、コロナ感染対応・対策を行いながら、各事業を進めることとなった。コロナ対策・対応については、仲間・家族・職員の健康を守ることを第一に考えながら、日々の事業については、可能な限り日常を取り戻す方向で進めた。

ここ数年の人材流出や実践上の課題を解決するために、管理者の異動を行った。各事業所で管理者を複数体制とし、組織のあり方を見直し、課題や問題に素早く対応できるよう取り組んだ。

法人の優先課題である家族や仲間の高齢化に伴う地域生活支援の充実の一環としてGH「ひまわり」をリニューアル開所し、生活環境整備とGHの入居定員を増やした。各事業所での職員（とりわけGH夜勤勤務者）確保が難しく、法人として、5年後10年後を見通した人材確保と育成計画の構築と実行が大きな課題となっている。

具体的な取り組み

1. 感染症や大規模災害への対応力強化

- ・新型コロナウイルスについては、国や奈良市からの感染状況に対するガイドラインに基づいて、法人の行動マニュアルも随時見直し、感染予防と拡大防止対策を行った。
- ・仲間、家族のご協力と、職員の日頃からの努力によって、市内の医療機関や社会福祉施設で広がったクラスター感染を防ぐことができた。
- ・GHでは、感染や濃厚接触での急な欠勤が続出し、一部職員への負担増加が課題となった。
- ・感染症への対応・対策を行政（奈良市福祉課や保健所）に、他の事業所とともに働きかけ、仲間のワクチン集団接種の実施や職員向け抗原検査キットの配布が行われた。
- ・大規模自然災害が、いつ起きても対応できるように具体的な備えを進めてきた。
- ・法人の業務継続計画（BCP）の原案を作り、経営委員会等で論議を進めた。また、次年度に各事業所単位のBCP策定づくりを行うように確認した。
- ・職員への防災に対する意識調査（アンケート）や事業所内の危険個所、防災備品等のチェックを行い、防災意識向上に努めた。

2. 新規事業、事業拡大等

- ・仲間の生活全般を支えるために、GHを中心に事業を拡大してきた。
- ・「すまいる」開設後、感染症対策で延期となっていた短期入所を週1回の利用から開始した。
- ・GH「ひまわり」が、6月にリニューアル開所し、11人の女性の仲間が暮らし始めた。第2「すまいる」建設、「ぐうぐうハウス」改修については、具体的な準備は進んでいない。
- ・日中事業での事業見直しについては、論議が十分行われていない。今後の課題となっている。

3. 財政基盤の強化

- ・昨年から引き続き、財政について積極的に論議し、将来に來に向けた財政強化や財政の在り方などの確立をすすめた。
- ・毎月の経営会議や管理者・主任会議で、月次報告を行い、現状と改善点を確認した。また予算執行状況を中間総括し、未達成項目の対策を検討する等の経営的視点を学んだ。
- ・長期的な経営の安定化をめざし、将来の施設改修、設備改善等のための資金積み立てを計画的に実行するように年間の収支を位置付けた。
- ・財政から見た事業内容の見直し、新規利用者増については、次年度の課題とした。

4. 職場の改善

- ・職員が働きやすい職場づくりのために論議し、できることから実施してきた。
- ・残業をなくすことや休憩時間確保など、事業所単位や活動ごとに実施してきた。
- ・勤怠管理システムを11月から試験導入し、本格実施は来年度当初からとなった。

5. 人材の適正配置、確保、養成

- 全国的な福祉人材不足の中で、職員の確保・養成について経営委員会でも多くの時間を割き、論議を進め、具体化を行った。
- 新規採用のために、民間の就職情報会社の利用、行政主催の福祉就労のための説明会等に参加など、積極的に採用活動を行った。また、外国人の採用も模索してきた。
- 昨年度から研修出張に派遣、自主研修に補助を出すなど、人材育成を進めてきた。初任者研修については定期的に行った。人材育成計画書(キャリアパス)案を具体化し、実施していくことが必要となる。
- 各事業所でケース会議を行ってきた。大学研究者にも参加してもらい、ケース検討も行った。

6. 地域づくりや他団体との連携

- コロナ禍が続く中で、地域連合自治会の動きに合わせた対応を継続した(イベントの中止、見学や実習の見送り等)。
- 地域との連携でもある「クリコミ」「ここに市」等は、感染対策を行いながら、実施してきた。住民自治会や地区社協などとも関係を継続してきた。
- こっから祭については、今年度も中止とした。来年度は新しい形で実施する。

7. 20周年記念事業

- 法人20周年記念事業・行事については、コロナ禍という条件も考慮し、3月26日に、仲間・家族・職員中心に短時間でおこなった。
- 記念冊子については、今回は作成できなかった。25周年記念事業の課題としたい。

■コミュニティワークコッから 事業報告

1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークコッから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 31名(委託職員を除く)
常勤正規/15名 非常勤/16名

2. 利用者の状況(2023年3月31日付)

- ① 利用者数 46名(男性23名/女性23名)
- ② 平均年齢 38.2歳(21歳~65歳)
- ③ 平均程度区分 4.9
- ④ 障害手帳 療育手帳A(39名)/B(6名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(44名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1,000円 650円 400円 300円
賞与(年間1ヶ月)
今期 3,000円/月 6,000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
営業日数	20	21	23	23	22	22	21.7
登録者数	48	47	47	46	46	46	46.3
総利用者数	886	875	986	879	864	839	883.2
1日平均利用数	44.3	41.7	42.9	38.2	39.3	38.1	40.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度比
営業日数	22	21	22	21	20	23	100%
登録者数	46	46	46	46	46	46	96%
総利用者数	886	873	870	825	834	981	99%
1日平均利用数	40.3	41.6	39.5	39.3	41.7	42.7	99%

5. 助成事業・寄付等

- イオンビッグ株式会社 様
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、ビッグエキストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- イオンリテール株式会社 様
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- 株式会社カーブスジャパン 様
株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈していただいた。
- 両立支援助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース)を受給
- 日本財団 様
日産セレナ電動ステップ付き8人乗り送迎車両導入助成事業にて1台車両を配備していただいた。
- 地域の方より たくさんのお野菜をいただいた。

6. 事業活動

授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	合計
事業収入	4,607,254	66,750	393,036	2,736,356	41,830	226,546	8,071,772
前年度比	107.7%	84.3%	84.2%	97.9%	70.1%	60.7%	100.3%
材料費	2,751,401	287,490	201,167	2,160,236	0	107,271	5,507,565
前年度比	100.9%	100.7%	203.6%	115.5%		317.3%	109.8%
労務費	941,600		495,000	994,500	529,500		2,960,600
経費				2,079,366			2,079,366
減価償却費			423,816				423,816
支出合計			10,971,347				10,971,347
収支差額			-2,899,575				-2,899,575

事業販売

	売り上げ	粗利益	売上前年度比
夏季事業販売	741,960	171,208	103%
冬季事業販売	724,460	167,927	53%
バレンタインチョコ	326,710	59,938	151%
ホワイトデー	53,440	9,861	58%
合 計	1,846,570	408,934	77%

出張販売

	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	奈良県庁販売会 出店
1月	
2月	
3月	

定点販売

デリカフェびいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火・金	食パン
ヘックスハイブ	月～金	食パン
社会福祉法人協同福祉会	月4回	洋菓子
花しば	火・木・金	洋菓子 とうふ
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
call	水	とうふ

7. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	
5月	つながり祭(WEB)
6月	避難訓練
7月	
8月	きょうされん仲間部会ふれあい盆踊り参加 / コッから仲間自治会夏祭り
9月	健康診断 / コロナワクチン集団接種
10月	
11月	日帰り旅行(2班毎合同) / 東大寺ビック幡デザイン採用作品見学
12月	クリスマス会 / 餅つき / きょうされん仲間部会かくし芸大会(WEB) / きょうされん奈良支部利用者部会 / 奈良県交渉コロナワクチン集団接種
1月	初詣(全体) / 書初め / 成人式
2月	
3月	福祉のお仕事フェア出展(奈良コンベンションセンター) / こぶしの会20周年記念集会 / 花見

8. 見学・研修

施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
6/9	東市地区民生員会見学来所	21
7/4	個人 見学来所	1
7/15	個人 見学来所	1
10/20	個人 見学来所	1
11/7	個人 見学来所	1
11/15	個人 見学来所	2
11/17	個人 見学来所	1
1/26	個人 見学来所	1
2/27	個人 見学来所	1
3/9	個人 見学来所	1
3/28	個人 見学来所	1
合計		32

体験・実習

日付	来所者	人数
7/25	奈良東養護学校(2年生)職場体験実習 ~26日	2
8/8	奈良東養護学校(2年生)職場体験実習 8/8・31	1
合計		3

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/29	きょうされん奈良支部総会	WEB
5/21	法人職員全体方針研修	施設内
7/7	奈良セルフ虐待防止研修(奈良県社協)	施設外
7/29	奈良県ファミリーテーター養成研修	WEB
8/20	きょうされん基礎講座	WEB
9/17	法人全体研修	施設内
9/25	全障研奈良支部研修	WEB
10/3	安全運転管理者講習	施設外
10/6	法人内きょうされん担当者研修(優生保護法問題研修)	施設内
10/12	奈良県サービス管理責任者基礎研修 10/12・14	WEB
10/14	第40回近畿社会就労センター総合研究大会(滋賀大会)	WEB
10/25	優生保護法問題全面解決全国集会(東京)	施設外
10/30	奈良市総合防災訓練【高齢・障害 福祉避難所】(奈良市西福祉センター)	施設外
11/14	京都社会就労センター職員研修	WEB
12/3	法人全体研修会	施設内
12/6	奈良市施設長会議BCP策定研修	WEB
1/27	きょうされん経営管理者研修 1/27・28	WEB
2/10	奈良市施設長会議BCP策定研修	施設外
2/18	法人総括会議	施設内

9. 地域との連携

- ①東市クリーンコミュニティ(月2回/第1、3土曜日)に参加し地域清掃に取り組んだ。
地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員(参加希望者を毎回募る)が関わることになり交流が広がった。(毎月第三火曜日14時から1時間)。
- ②こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。

10. 設備改修

- 厨房給湯器入れ替え ■ 避難誘導等取り換え ■ 更衣室ドア修理 ■ 空調基盤修理 ■ トイレドア修理
- 厨房空調入れ替え

11. 活動総括

- ① 施設に関わる全ての人の「命」「健康」「生活」を守ることを最優先に運営を進める
 - ・コロナウイルス感染予防と拡大防止対策を引き続き徹底する

仲間・家族・職員と罹患者は一定数あるものの、施設内での連鎖的な感染拡大は起きなかった。正確な行動履歴の把握、定時換気、都度の消毒、マスクを大半の人が着用していた。

- ・家族との協力、他法人との連携、協力しあえるネットワークづくりを目指す

罹患された仲間・ご家族へ電話での不安解消サポート。
家庭での暮らしが脆弱な仲間の同居家族が陽性となった際には、法人の対応マニュアルでは通所できないが、一旦通所を受け入れ簡易検査の実施や着替え食料援助を行った。個々のニーズや困難課題へ想像し、今できることを実施した。

- ② 障害の重い人たちの「尊厳のある労働、自分らしく暮らしを紡ぐ」を支える仕組みづくり(全職員の意思統一と情報共有)と支援の質の向上を目指す

・朝夕の職員ミーティング、ケース記録等の書式見直しとITを活用した記録への移行

朝は送迎確認や欠席確認、前日夕方での引継ぎ事項の再確認等。
夕は明日の行動確認と申し送り事項の確認、その日印象に残ったエピソードを班ごとに報告した。
実績記録は電子書式移行完了。ケース記録に関しては未実施、次年度持ち越し

・職員会議開催数の増加、ケース検討会の定例化

年間を通し、月1回職員が参集する会議を実施(法人全体会を含む)。参加対象者を現場の全職員とした。職員会議の後半にはケース検討会を行った

・内部研修会の定例化と外部研修会への積極的な参加促進

8月 強度行動障害支援者研修 派遣

10月 優先保護法問題の全面解決をめざす10.25へ仲間・職員を派遣

- ③ 成果や生産性に仲間が左右されることなく、ひとり一人の「働く」を保障し、願いを育み人生が豊かになるよう、

・授産活動の製造販売を見直し、実店舗や地方発送へ対応できる等の変更を検討する。

イベント等、不特定多数の方に会う販売は控え、予約販売を行った。引き続きご家族に授産品購入の協力をいただいた。地方発送ではなく地域に根差した販売が施設として必要であるとの意見があった為、実店舗販売再開を次年度目指していく。

・需要変動リスクにも対応できる新たな授産品の製造や販売を検討する。

米粉を使った新商品開発、とうふの製品規格見直し、パンの販売品目見直し等を行っている

- ④ 仲間の声を聴きながら、現在の仲間のニーズをとらえた活動内容の見直しを図る

・仲間自治会の定例開催、仲間自治会と管理者での懇談の実施

仲間自治会、複数回開催。自治会と管理者での懇談は未実施。年度内で可能であれば実施したい

・班ごとで、仲間の話し合いや心情を表現できる場を月1回以上実施する。

3年ぶりにこっから旅行を全体行動として企画するが、感染対策も考慮し、2班単位に分け催行。行先等企画内容を班ごとで話し合いを持ち、結果を全体にプレゼンした。仲間全員が行先決定の投票を行い、準備の段階から全員が少しでも参加できるようにすすめた。

- ⑤ 事例・事故の検証を当事者だけの問題にせず、「誰が」ではなく「何が」という視点で全体の問題とし、全職員が統一した対応ができるよう情報共有、研修会を都度開催していく

・全職員に事件事例検討の報告・分析・改善策などを会議等で迅速に周知徹底する

事故報告を都度職員会議で実施。個人の責任を追及するのではなく、発生事案の原因や再発防止の為の情報共有や対応策の確認を実施した。

- ⑥ 設備改修や防災機能の充実と危機管理対策の徹底。

・生活介護事業のBCP(事業継続計画)策定とそれに基づいた研修会の実施

奈良市施設長会主催のBCP作成研修会へ1名参加。

BCP未策定。令和5年度末までに作成する。

・防災用品の備蓄(非常食、簡易トイレ、自家発電機等)と、それを活用した防災訓練の実施

・大規模災害や不審者侵入等を想定した避難訓練を定期的の実施する(職員会議や活動中の実施)

大規模災害や不審者侵入を想定した行動計画の策定が未整備の為、実施に至らなかった。火災や施設外に避難する訓練を実施日より一月以上前に予告し実施した。以前より現実味のある訓練となった。

- ⑦ 地域住民有志の方との清掃活動、地域行事での送迎、子育て支援等、地域貢献活動を地域の方と共に積極的に取り組む

地域行事等コロナウィルスの流行に伴い今年度もすべて中止となった。月1回古市公園にて地域ボランティア団体との清掃交流活動は紙すき班を中心に天候不良日以外は全て実施した。仲間も精力的に参加していた。

■ここに／すたあと事業報告

1. 施設の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 施設名 ここに／すたあと
- ③ 所在地 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2
- ④ 開設日 平成23年6月1日
- ⑤ 施設種別 就労継続支援B型
- ⑥ 定員 20名
- ⑦ 建物等 ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)
すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)
- ⑧ 作業内容 ここに 野菜等の販売、惣菜等製造販売、グループホーム夕食づくり
すたあと 軽作業、グループホーム除草作業
- ⑨ 施設職員 ここに 常勤正規2名 非常勤3名
すたあと 常勤正規2名

2. 利用者の状況

- ① 利用者数 ここに 10名(男性5名/女性5名)
(3月末時点) すたあと 6名(男性2名/女性4名)
- ② 平均年齢 ここに 36.8歳(20歳~63歳)
すたあと 41歳(32歳~54歳)
- ③ 障害手帳 ここに 療育手帳A(1名)/B(8名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)
すたあと 療育手帳A(3名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名)
- ④ 居住地 ここに 奈良市(10名)
すたあと 奈良市(5名)、生駒市(1名)
- ⑤ 通所方法 単独通所
- ⑥ 労働時間 9:30~16:00
- ⑦ 給料 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 特別調理手当(200円/回)
平均工賃15,901円/月(前年度比107%)
賞与(年間2ヶ月支給) 年度末に期末手当を支給(2万円をベースに出勤率で計算)
- ⑧ 行事 季節ごとに実施 ※別紙参照
- ⑨ 負担金 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費
- ⑩ 自治会活動 毎月1回の全体会

3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」ことと人間的に発達することを大切に、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

4. 利用実績

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	21	22	22	22	21	21	
登録者数	15	15	16	16	16	16	
総利用者数	250	249	293	270	261	269	
1日平均利用数	11.9	11.3	13.3	12.3	12.4	12.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	22	22	21	20	20	23	21.4
登録者数	16	16	16	16	16	16	15.8
総利用者数	275	272	271	248	255	311	268.7
1日平均利用数	12.5	12.4	12.9	12.4	12.8	13.5	12.5

5. 補助・助成事業

- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。
- 西本願寺わかさ福祉寄金により、台下冷蔵庫を購入した。

6. 事業活動

就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	8,047,159
前年度比	108.8%
材料費	3,857,400
前年度比	102.0%
労務費	2,830,450
経費	564,524
収支差額	794,785

7. 見学・研修

施設見学・研修

日付	来所者	人数
4/22	「つなぎ」より利用相談	3
合計		3

フードバンクより見学

8. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	たけのこ掘り／きょうされん奈良支部総会(ZOOM)
5月	きょうされん全国総会
6月	
7月	ブルーベリー狩り / 燈花会「早咲きの会」
8月	奈良市美術館「妖怪POP展」
9月	金魚ミュージアム
10月	きょうされん全国大会 in 岩手
11月	モンベルショッピング
12月	クリスマス会
1月	山焼き & インドカレー
2月	ここすた旅行(三重県:おやつタウン)
3月	ウクライナ支援フェア in 生駒 / こぶしの会20周年のつどい

体験・実習

日付	来所者	人数
	本年度は無し	

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/9	「今こそ、生活保護を当たり前の権利に」大阪弁護士会主催	施設外
5/12	「仲間意識は必ず仲間外れを作る」ハスの実の家主催	施設外
5/30	「成人期の障害者福祉の職員として33年間、発達保障実践と運動の中で感じたこと」全障研愛知支部主催	施設外
6/18	「ウクライナ難民支援から学ぶ」憲法25条を守り活かそう学習交流集会	施設外
6/23	就労支援スキルアップセミナー 奈良市主催	施設外
7/2	「社会福祉における参加を問い直す」鉄道弘済会主催	施設外
8/9	「長崎の原爆～南相馬支援での思い～ウクライナ侵攻に思うこと」きょうされん奈良支部主催	施設外
8/20	「いのちの尊厳とわたしたちの選択」きょうされん基礎講座	施設外
8/27	「選別の論理と歴史と精神障害者」精神医療国賠訴訟奈良県民の会主催	施設外
9/17	こぶしの会 法人研修	施設内
9/25	「自閉症スペクトラムの人たちの発達」全障研奈良支部主催	施設外
9/27	組織の仕組みづくりセミナー 奈良県主催	施設外
10/5	組織の仕組みづくりセミナー 奈良県主催	施設外
10/22	「人とむきあう仕事。人間を大切にすること」四者協学習会	施設外
11/26	「日本は国連から何を勧告されたか」きょうされん専門講座	施設外
12/3	こぶしの会 法人研修	施設内
12/6	フードバンクセミナー	施設外
12/10	あいサポーター研修	施設外
12/19	障害者権利条約プロジェクト学習会 JD主催	施設外
1/14	「家族は障害のある人の地域生活を支える社会資源なのか」きょうされん主催	施設外

日付	研修名	備考
1/27	経営管理者総合研修 きょうされん主催	施設外
2/3	「支援者のための発達障害理解啓発研修会」 奈良県主催	施設外
2/4.2/5	社会福祉士実習指導者資格講習	施設外
2/19	フードバンク交流会	施設外
2/23	「LGBTやセクシャルマイノリティを理解しだれもが生きやすい社会へ」 きょうされん愛知支部主催	施設外
3/3	中堅職員研修 奈良県福祉・介護事業所認証制度	施設外
3/4	「コミュニティナースの活動に学び、地域を元気に」 奈良県生協連主催	施設外
3/7	奈良市障害者虐待防止研修会	施設外
3/11	こっから合同ケースカンファレンス	施設内

9. 地域との連携

- ・自治会主催の町内清掃に参加した
- ・コロナの影響で、東市まるごと子どもフェスタ、椿祭は中止
ここに市でのマッサージは中止、生け花教室は感染状況に応じて開催・中止を繰り返した。
- ・中西農園に職員有志でミカン狩りに。

10. 活動総括

- ・奈良市公共施設の清掃、マンション清掃を新たな施設外での仕事として取り組んだ。
- ・仲間の給料昇給を2名行い、年二回のボーナスにくわえ、年度末に期末手当を支給した。
- ・地域貢献としての清掃活動、ここに市の開催、GH配食事業を行った。
- ・合同開所日や、仲間自治会等を行い「ここに」「すたあと」の仲間の交流を図った。

■ふゅーちゃー事業報告

1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1) ケアホーム春日苑(共同生活援助)
(i) 共同住居すまいる
(ii) 共同住居ぐうぐうハウス
- (2) すまいる(短期入所)
(3) ひまわり(共同生活援助)
(4) 支援センターふゅーちゃー
- ③ 所在地 (1) 奈良市古市町93-1
(i) 共同住居すまいる 奈良市古市町93-1
(ii) 共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41
- (2) 奈良市古市町93-1
(3) 奈良市古市町1846-80
(3) 奈良市古市町529-1
- ④ 施設種別 (1) 共同生活援助(包括型)
(2) 短期入所事業
(3) 共同生活援助(日中サービス支援型)
(4) 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援(奈良市、御所市)
- ⑤ 定員 (1) 15人
(2) 4人
(3) 11人
(4) 定員はなし
- ⑥ 職員 34人(常勤専任5人、常勤兼任2人、非常勤27人)

2. 利用状況

① 利用状況

■ 共同生活援助

月毎延利用(人・日)

令和4年4月	290	令和4年8月	478	令和4年12月	515
令和4年5月	486	令和4年9月	509	令和5年1月	507
令和4年6月	570	令和4年10月	539	令和5年2月	491
令和4年7月	536	令和4年11月	511	令和5年3月	570

■ホームヘルプ事業

月毎延利用(時間)

令和4年4月	262	令和4年8月	14	令和4年12月	14.5
令和4年5月	14	令和4年9月	15.5	令和5年1月	13.5
令和4年6月	15	令和4年10月	14	令和5年2月	14
令和4年7月	16.5	令和4年11月	16	令和5年3月	14

■短期入所事業

月毎延利用(人・日)

令和4年4月	30	令和4年8月	22	令和4年12月	20
令和4年5月	18	令和4年9月	20	令和5年1月	20
令和4年6月	25	令和4年10月	26	令和5年2月	20
令和4年7月	24	令和4年11月	20	令和5年3月	24

3. 事業所の運営

①運営の概要

- (1) 令和4年5月休止中の共同住居ひまわりを廃止。
仮住まいの旧ひまわり入居者5名を新事業所のひまわりへ転居。
令和4年5月ケアホーム春日苑すまいる1名新規入居。
- (2) 令和4年5月共同生活援助ひまわり事業開始
ひまわり建替え期間中、在宅支援を提供していた6名入居。
新規入居者として5名入居。
- (3) 令和4年よりすまいるにて短期入所の実施。令和5年4月より受け入れ休止。
- (4) 奈良市、御所市において、居宅(共同生活住居含)における 居宅介護、行動援護、
令和4年4月までグループホームひまわりの入居者6名の仮住まいでの生活支援の為
6名に対し、新規で居宅介護、行動援護、移動支援の提供。

■こぶしの会相談支援センター 事業報告

1. 事業の概要

- ① 施設名 こぶしの会相談支援センター
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成26年9月1日
- ④ 事業種別 指定計画相談支援 障害児相談支援
- ⑤ 職員 1名

2. 事業

①相談支援活動の概要

相談支援契約者数は89人と2名増えている。今年度は体制強化のため、0.2人分の兼務相談員配置をおこなう方針であったが、諸事情から置くことができず、今年度も1名体制での業務となった。年間の相談支援件数は320件、月平均27件となっている。奈良市で基幹相談支援センターが立ち上がり、困難ケースについて一緒に情報交換しながら対応することもあった。が、困りごとへの手だてはじめ、実働や、具体的な方針提起についても計画相談が担わざるを得ない状況は大きく変わっていない。今後、法人内で相談支援事業をどう位置付けていくのか、基幹相談支援センターの実効性、制度の動向などを注視しながら、引き続き議論をしていくことが必要である。

②障害児相談

全国的に障害児相談事業所の撤退傾向が続き、市内でもその受け皿が少なくなっており、奈良市ではセルフプランが4割を占める実情となっている。そういった状況から、就学前の相談や、小学校低学年の利用希望が増えている。また、コロナ禍、DVや子どもへの虐待対応、ひきこもり子どもの支援なども引き続き多い。支援が必要な家族が複数いるケースもあり、保健、医療、教育、司法等関係機関と連携して対応をすすめている。発達診断の基礎知識や療育・教育分野について研修を重ねながら対応している。

③地域の相談

地域の相談件数は微増している。委託相談や基幹相談から要請がたびたびきており、体制上断らざるを得ないときもあるが、地域での凝んなじれいは増えていると思われる。とりわけ、コロナ対策は地域でサービスにつながりにくい人にはとても手薄で、その穴を相談支援の実働で埋めている実態がある。生活保護受給、65才問題対応、ひきこもり支援と重ねた訪問等々、計画作成の枠にとどまらない生活課題への対応に時間が割かれている。特に下半期は外国籍の利用者が増え、新たな困難さが浮き彫りになっている。自立支援協議会等を通じて必要なしくみや、社会資源をつくらせることが引き続き必要である。

④法人内相談活動

法人内の日中事業所利用者については、グループホーム入居に挑戦したり、事業所間異動のケースがあり、利用計画支援は増えているが、一方で生活が落ち着いてモニタリング回数を減らしたケースもあり、全体の相談件数は減っている。実践担当者には、ケース会議等を通じて、家族や利用者の思い・願いを伝え、課題解決の糸口を一緒に考えてきた。引き続き医療機関や、法人外の事業所、後見人らと連携しながら、情報共有につとめていく。

⑤その他

相談支援の力量を高め、ライフステージを見越した支援の提案ができるために、幅広い分野で自主研修をすすめた。とりわけ、障害者権利委員会の総括所見から、改めて障害ののとらえかた、人権モデルについて深めることを大切にしてきた。来年度は次期報酬改定の議論も活発化する。色々な場で、実態を伝え、制度改善のために発信していきたい。

3.利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	17	7	10	6	8	5
モニタリング	24	19	17	20	15	16
児童	3	4	5	2	2	5
成人	38	22	22	24	21	16
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	10	11	8	8	6	5
モニタリング	21	17	11	19	20	20
児童	1	3	6	4	3	7
成人	30	25	13	23	23	18
	合計	H29	H30	R元	R2	R3
計画相談	101	60	90	68	94	102
モニタリング	219	168	179	208	217	241
児童	45					
成人	275					

登録89人 内訳:児童12人、成人77人 児童:就学前1人、小学3人、中学2人、高等部6人
 コックから・ここに・すたあと所属56人 地域33人

4. 研修

施設(内外)研修

日付		備考
4/22	天海訴訟報告集会 65歳問題	自主
5/29	障害者問題研究を読む会 思春期の発達と教育実践	自主
5/29	全国障害者問題研究会総会(講演:発達保障)	自主
6/3	講師活動:「ライフステージを支える相談活動」きょうされん福岡	講師活動
6/9	発達学習会 白石恵理子・白石正久氏 みんなのねがひ	自主
6/8	第1回相談支援事業所連絡会(自立支援協議会)	自主
7/30	コロナ対策交流会Zoom	自主
6/24	ひとり親障害者の児童扶養手当併給調整違憲訴訟控訴審傍聴	自主
6/30	きょうされん学習会「避難所運営と災害の備え」	自主
4/25	相談支援事業所事例検討会	自主
7/25	相談支援事業所事例検討会	自主
6/7	全国障害者問題研究会 兵庫大会	自主
8/29	優生保護裁判報告集会	自主
9/11	青年成人期の発達学習講座 佐藤さとこ氏(ゆたか福祉会)	自主
9/25	全障研奈良支部自閉症スペクトラムの心の発達学習会	自主
9/30-10/1	きょうされん岩手大会 参加分科会 相談支援	施設外
10/15	障害者・患者9条の会 平和学習会	自主
10/22	4者協 学習会 天理大 深谷弘和氏	自主
10/25	優生問題 全国集会 日比谷野外音楽堂	施設外
10/29	きょうされん防災学習会 ILの会	自主
10/31	相談支援事業所事例検討会	自主
11/12	児扶併給訴訟学習会 田中智子氏	自主
11/25	きょうされん防災学習会 要支援者名簿と開示	自主
11/26	きょうされん専門講座「日本への勧告」	自主
11/28	自立支援法違憲訴訟団 定期協議	自主
11/30	きょうされん拡大相談支援部会	施設外
12/3	法人全体研修	施設内
12/6	JD権利委員会総括所見セミナー	自主
12/9	天海訴訟報告集会 65歳問題	自主

日付		備考
12/10	発達学習会 白石恵理子・白石正久氏 みんなのねがい	自主
12/12	相談支援事業所連絡会 自立支援協議会	自主
12/18-19	きょうされん近畿北陸ブロック研修 和歌山ひきこもり支援「創」	施設外
12/26	相談支援事業所事例検討会	自主
1/27-28	きょうされん経営管理者総合研修会	施設外
2/19	発達学習会 白石恵理子・白石正久氏 みんなのねがい	自主
3/6	NDF「奈良モデル条例」厚生委員会傍聴	自主
3/11	JD権利委員会総括所見セミナー	自主
3/23	NDF「奈良モデル条例」学習会 県障害福祉課	施設外
3/24	天海訴訟 報告集会 65歳問題	自主
3/27	自立支援協議会相談支援部会事例研究会	自主